

認知症介護実践リーダー研修

職場内教育（OJT）の実践

医療法人コスモス コスモス松川デイサービスセンター

朝倉寛史

研修の目的

○目的

これまでに学習した認知症ケアに関する知識・技術・価値を踏まえ、事例を通してOJTにおけるリーダーの視点や関わりを理解し、OJT実践にどのように活用していけばよいかを体験的に理解する

研修の目標

○目標

- ①リーダーの視点でパートナーを共感的に理解し、自身の経験を通して振り返ることができる
- ②行動・心理症状(BPSD)についての演習を通じて、リーダーとして必要な関わりと、その関わりによって期待される変化を説明できる
- ③演習を通じて、リーダーとしての視点や関わりを振り返り、今後のOJT実践で意識したいことを整理できる

MEMO

演習①

MEMO

演習②

MEMO

演習③

MEMO

パートナーの成長を支えるために

演習①:

- ・ OJTは利用者やパートナーを理解することから始まる
- ・ リーダー → パートナー → 利用者というつながりを意識する

演習②:

- ・ 話し合われたことは、OJTにおけるリーダーの具体的ななかかわりの一例
- ・ パートナーとリーダー双方の学びや気づきを得る機会となる

演習③:

- ・ リーダーとしての知識・技術・価値やパートナーへのかかわりを振り返り、今後の成長につながる方向性を考える

Off-JTで学んだ知識や考え方は、日々のOJTを実践していくことで活かされていきます。学びを実践へとつなげることが、パートナーの成長を支え、その積み重ねがチームや組織の成長、そしてよりよい認知症ケアの実現につながります。

課題について

パートナーの成長を支えるために、リーダーとして自分自身が成長していくために必要なことは何か、具体的に記述してください

参考文献

- ・ 認知症介護実践研修テキスト「実践リーダー編」中央法規（2022）

**おつかれ
さまでした！**

今日の気づきや学びが、明日からの
実践につながることを願っています。
どうぞゆっくりお休みください

